



- 社会人
- 学生
- 高等
- 極体連
- 中体連
- 小学生
- 県協会

- 全国大会
- ブロック大会
- 都道府県大会
- 地区大会

- 男子
- 女子

試合番号 **合志-男15**

年月日 2019年8月4日(日)  
大会名 令和元年全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

公式記録用紙

A		札幌静修高等学校						瓊浦高等学校						B	
熊本市		合志市				合志市総合センターヴィーブル						1回戦			
前半	A	B	最終結果		第1延長		第2延長		7mシュート		A	B			
	7	11	19	20											
7m得点/総数		A		チームタイムアウト		チームタイムアウト		B		7m得点/総数					
1/1		1	2	後半	3	1	2	後半	3	3/4					
		2641		2839		2304									
No.	札幌静修高等学校						No.	瓊浦高等学校							
	G	W	2'	2'	D	DR		G	W	2'	2'	D	DR		
1	小玉 峻輝						1	加藤 拓							
2	吉村 拓哉						2	前田 一鷹							
3	坂井 飛翼						3	前川 大樹							
4	東田 寛祐						4	井手 虎太郎							
5	神田 拓弥						5	棚町 夏貴							
6	青塚 和弥						6	中井 博海							
7	石井 志龍						7	松村 篤							
8	富川 優斗						8	上平 涼太							
9	出口 晴大						9	黒磯 瑠王							
10	佐藤 洲						10	山崎 迅翔							
11	後藤 碧						11	一瀬 太希							
12	高尾 光						13	阪田 良太							
13	臼杵 遼一郎						14	小澤 誠介							
14	若木 拓哉						16	福本 雅人							
役員A	山本 沙貴						役員A	末岡 政広							
役員B	渡辺 麻莉子						役員B	本田 喬史							
役員C	山中 美怜						役員C	本村 隆暉							
役員D							役員D								

A **山本沙貴** チーム役員A署名 **末岡政広** B

レフェリー	小澤 俊	西村 和浩	小澤 俊	西村 和浩
TD	福島 亮一	葦原 大三	福島 亮一	葦原 大三
MO				

得点(G), 警告(W), 退場(2), 失格(D), 報告書付失格(DR) 特記事項に報告書として内容を記入



令和元年度全国高等学校総合体育大会  
高松宮記念杯第70回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2019年 8月 4日 日曜
会場	合志市総合センターヴィーブル
種別	高校男子
回戦	1回戦

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
	19	札幌静修 高等学校	19	7 — 11	20
後半				12 — 9	
	第1延長		第2延長		7MC
	—		—		—
	—		—		—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半
	札幌静修は5-1ディフェンス、これに対し瓊浦は相手のパス回しの後2枚目が高めに詰める変則の4-2ディフェンス。互いにサイドシュートを入れあう互角の試合展開でゲームが進む。札幌静修は、佐藤のミドルシュート等でリードを奪い、序盤の主導権を握るも退場者を出す間に瓊浦に5-5と追いつかれる。その後は互いにミスが続き一進一退の攻防が続いたが、札幌静修は富川のサイドシュートで再びリードする。ところが、20分に瓊浦は前川がサイドシュートを決め再び同点とすると、ディフェンスが機能し始め前田が連続で速攻を決めるなどして一気に4連続得点し、11-7の4点リードで折り返す。
後半	後半開始瓊浦が先制すると、札幌静修も速攻でディフェンスを押し込み退場や7mTを獲得。瓊浦が退場者を出し5人の場面で点差を詰めた札幌静修であったが、セットオフェンスでミスが続き縮まらず。ピンチをしのいだ瓊浦は、連続速攻で5点差に広げる。しかし札幌静修も神田の連続速攻で3点差にするが、退場者を出し再び5点差となる。中盤以降しばらく交互に点を取り合う攻防が続く。20分過ぎに札幌静修はオフェンスで富川の個人技を軸に3連続で得点し3点差になると、瓊浦はたまたまタイムアウト。再開後も札幌静修の勢いは止まらず、残り30秒で1点差にまで詰め寄ったが、20体19の1点差で瓊浦が逃げ切った。

記入者 北島 潤一

ハンドボール No.57

(No.47の修正版です)